



ロサンゼルス郡の方々の中には、ご自身とご家族が COVID-19 ワクチン接種を受けるかどうか決めかねている方がまだ多くおられます。誰もが自分自身と家族のために最善の決断を下せるように、医療情報を正しく理解することが重要です。

正しい情報と、誤った情報を区別することは必ずしも容易ではありません。ワクチン接種を受けようと思っ  
ている際や悩んでいる友人に助言する場合は、以下の事実を参考にしてください。

**誤情報 #1： ワクチンの開発を急いだため、その安全性は定かではない。**

**事実： これらのワクチンの迅速な開発は可能であり、以下の理由でかつ安全となっています。**

- SARS や MERS などの他のコロナウイルスに関する研究がすでになされていたため、有利なスタートを切ったのです。研究者はまた、mRNA ワクチンとウイルスベクターワクチンの両方の研究を行っていました。これらは、米国で使用されている COVID-19 ワクチンの種類に該当します。
- 政府はワクチン開発のために多くの資金とリソースを提供しました。これにより、研究者が共同で開発を進めやすくなりました。
- 研究者は、既存のネットワークを使用して COVID-19 ワクチンの臨床試験を実施しました。多くの人々が試験への参加を強く望んでいたため、臨床試験を迅速に開始することができました。
- 食品医薬品局（FDA）と米国疾病対策センター（CDC）による COVID-19 ワクチンの評価と認定は、優先的に行われました。
- mRNA ワクチン（ファイザー及びモデルナ製ワクチン）は、従来のワクチンよりも迅速に製造できます。
- ワクチンの開発と製造のいくつかの過程は、段階を追ってではなく同時進行で行われました。例えば、製造は臨床試験の実施中にワクチンの製造を開始しています。重要なのは、新しいワクチンの開発にあたり、安全性を守るために従うべきすべての手順は遵守されたという点です。割愛された手順はありません。

**誤情報 #2： 長期的な影響については十分に分かっていない。**

**事実： ワクチンの作用機序に関する科学的見地から、COVID-19 ワクチンが長期的な副反応を引き起こす可能性は非常に低いといえます。**

長期的な健康問題を引き起こす可能性のある深刻な副反応が、一般的にどのワクチン接種後でも発生することはまれです。これまでのワクチン接種後の経過観察では、副反応は通常、ワクチンを接種後 6 週間以内に発生することが分かっています。FDA は、各 COVID-19 ワクチン接種を最後に受けた日から少なくとも 8 週間の研究を行うことを要求しています。

それに比べ、COVID-19 に感染すると、回復後（または長期間の COVID 感染）を含む多くの異なる健康上の問題を長期にわたり引き起こす可能性があります。

COVID-19 ワクチンは、現在、米国の歴史上最も集中的な安全性監視下にあるワクチンです。これには、ワクチンの安全性を確認するために、新しいシステムと既存のシステムの両方が使用されていることが含まれます。

これらの安全監視システムの使用は、いくつかのまれな副反応の特定に役立っています。これらの副反応は、ワクチン接種後、数日または数週間以内に発生しています。J&J 製ワクチンの接種者では、血栓や異常な出



血（[血小板減少症候群または TTS を伴う血栓症](#)）及びギランバレー症候群（GBS、神経系疾患）の発生が報告されています。ファイザーまたはモデルナ製ワクチンの接種者では、心臓と心臓の内臓の炎症（[心筋炎と心膜炎](#)）の発生が報告されています。これらは非常に深刻な状態になりえますが、その発生は大変まれです。COVID-19 に感染した場合、異常な凝固、GBS、心筋炎、心膜炎などの深刻な健康状態を引き起こす可能性はるかに高くなります。

現在までに、米国では 3 億 5000 万回以上の COVID-19 ワクチン接種が行われています。深刻な影響が発生する可能性はありますが、これは非常にまれです。これらの潜在的な悪影響のリスクは年齢や性別によって異なりますが、全体的に、ファイザーまたはモデルナ製ワクチンの 2 回目の接種を受けた人 100 万人あたり 3.5 人が心筋炎を発症すると推定されています。J&J 製ワクチンは、ワクチン接種者 100 万人あたり 7.8 人の人が GBS を、3 人が TTS を発症すると考えられます。COVID-19 ワクチン接種を受ける利点は、COVID-19 感染のリスクを上回ります。

詳細については、CDC のウェブページ「[COVID-19 ワクチンの安全性](#)」をご覧ください。

**誤情報 #3： ワクチンには、COVID-19 に感染させ、病気になるウイルスが含まれている。**

**事実：どのワクチンにも、COVID-19 の原因となるウイルスはいかなる形態でも含まれていません。ワクチンによって COVID-19 に感染することはありません。**

ワクチン接種直後に COVID-19 に感染した場合は、ワクチン接種とほぼ同時期に COVID-19 に感染したことが原因です。感染してから症状が現れるまで最大 14 日かかる場合があります。したがって、ワクチン接種の直前に感染した場合、ワクチン接種前に症状が現れない場合があります。

ワクチン接種後に感染する可能性もあります。これは、あなたの体が免疫を構築するのに時間を要するためです。ワクチンは非常に効果的ですが、100%の効果のあるワクチンはありません。

ワクチン接種後 1 - 2 日は発熱や倦怠感などがある場合があります。これらは、体が免疫を構築していることによる正常なワクチンの副反応であり、ウイルスによって引き起こされている病気ではありません。これらの症状は長くは継続せず、数日以内になくなります。

**誤情報 #4： COVID-19 ワクチン接種者は、COVID-19 ウイルスを放出し、周囲の人々に感染させる。**

**事実：米国で認可されている 3 つのワクチンのいずれにも、いかなる形態の COVID-19 ウイルスは含まれていません。**

COVID-19 ワクチンによって COVID-19 の原因となるウイルスに感染したり、感染力を持つようになることはありません。ワクチンによるウイルス放出は、ワクチンに弱毒化ウイルスが含まれている場合にのみ発生することがあります。米国で認可されている 3 つのワクチンのいずれにも、いかなる形態の COVID-19 ウイルスは含まれていません。これらのワクチンからウイルスが放出されることはありません。COVID-19 ワクチンの



接種を受けると、COVID-19 への感染の可能性を軽減することができます。また、COVID-19 ウイルスに感染していない場合は、ウイルスを放出したり、他の人に拡散することはできません。

**誤情報 #5：**これらのワクチンは、ウイルスと戦うために遺伝物質を使用している。これはワクチンが私たちの遺伝子に影響を与える可能性があることを意味している。

**事実：**これらのワクチンは、あなたの体にウイルスと戦う方法を教える遺伝物質を使用していますが、この遺伝物質があなたの遺伝子に変化を加えることはありません。

COVID-19 ワクチンに含まれる DNA または RNA は、COVID-19 ウイルスに見られるスパイクタンパク質の一部を構築する方法を私たちの体の細胞に伝えます。体内の免疫システムがウイルスへの反応を構築するために、このステップは必要なものです。次に、免疫システムは抗体を産生し、COVID-19 ウイルスに晒された場合に、COVID-19 ウイルスと戦うための免疫細胞の準備を整えます。

ファイザーとモデルナ製のワクチンには mRNA（メッセンジャーRNA）が含まれています。mRNA は、DNA が位置する細胞核内に入ることは決してないので、私たちの DNA に変化を加えることはできません。J&J 製ワクチンは、DNA を含むアデノウイルスワクチンです。アデノウイルスワクチンは、病気を起こしたり、複製したりできないように変化を加えたウイルスを使用しています。ワクチンには DNA を結合させる酵素（インテグラーゼと呼ばれる）が含まれていないため、ワクチンの DNA は私たちの DNA（または染色体）と結合することはできません。

**誤情報 #6：**ワクチンには、私の行動を追跡するために使用されるマイクロチップが含まれている。

**事実：**COVID-19 ワクチンには、マイクロチップや追跡装置は含まれていません。

COVID-19 ワクチンを接種するために使用される注射針は、最も小さいマイクロチップよりもはるかに細いです。この誤った情報はソーシャルメディアで始まり、マイクロソフトの共同創設者であるビルゲイツが、マイクロチップを埋め込んで人々の行動を追跡しようとしていると主張しています。ビル&メリンダゲイツ財団は、この主張が誤りであると記録に残しています。インターネット上に流れる多くの誤情報のように、その誤りが訂正されても、その流布を止めることは困難です。

**誤情報 #7：**ワクチン接種後も、注射針が腕の中に残る。

**事実：**ワクチン接種後、針が腕の中に残ることはありません。注射後、注射器または安全チャンバーに針が引っ込むため、針は「消える」ように見えるだけです。

ワクチン接種後、注射針が人の腕の中に残っているように見えるビデオを見たことがある人がいるかもしれませんが、その方が実際に見たのは、使用中の引き込み式の針です。[引き込み式の針を備えた注射器](#)は、ワクチンが接種された後、注射器の筒部分または注射器の側面にある安全チャンバーに針を引き込むことによって機能します。

COVID-19 ワクチンの接種に使用される針は大変細く、接種されるワクチンは微量です。注射針と接種量共にが微小なため、針やワクチンが腕に入るのを感じないこともあります。ワクチン接種を受ける前に、注射器の中の透明な液体と先端の注射針を見ることができます。ワクチン接種後、注射器内に液体が残っておらず、針が筒部分（または安全チャンバー）内にあることが分かります。



**誤情報 #8:** 「マグネットテスト」は、ワクチン接種後にマイクロチップまたは針が腕に残っていることの証拠である。

**事実:** それはあなたをだますことを意図した単なるごまかしです。

ソーシャルメディア上で、ワクチン接種を受けた人々の腕に磁石がくっついている様子を示す動画が流されています。これは、ワクチンにマイクロチップが含まれていること、または腕の中に針が残っていることを証明しようとしています。単なるトリックです。

磁石はテープや軟膏で簡単に皮膚に付着させることができます。磁石やコインを肌にしっかりと押し付けると、くっつくことがあります。さらに、COVID-19 ワクチンを接種に使用される注射針には、磁石を引き付けるのに必要な金属の量は収まりません。

**誤情報 #9:** これらのワクチンを作った人を信用することはできない。「大手製薬会社」は金儲けが目的であり、医師に彼らの製品が安全であると言うようお金を払っている。

**事実:** ワクチンの開発過程は透明性が保たれていました。独立した科学者や一般の人々は、これまで以上に多くの情報やデータを見ることができます。

製薬会社が安全性よりも利益を優先してきた恐るべき事例がありますが、今回のワクチン開発は世間の注目を集めています。ワクチンの安全性と有効性（ワクチンが機能することを意味するために使用される用語）の評価は、誰でも閲覧できるように公開されています。

研究を評価する人々には、全国のさまざまな分野における医療の先駆者の方々が含まれています。この方々は、医療人種差別と激しく戦ってきた人々を含む、幅広い医療グループを代表しています。彼らは、研究の質を検証し、プロセス全体を通して公平性が保護されていることを保証するために研究に関与していますが、その労働に対する対価を受け取っていません。検証者の氏名及び勤務先のリストについては、予防接種の実施に関する諮問委員会（ACIP）の[ウェブサイト](#)をご覧ください。これらの方々については、オンライン検索でより詳細に知ることができます。また、ACIP 会議の一部をオンラインで見ることができます。

**誤情報 #10:** ワクチンの安全性に関する本当の証拠がないので、黒人とラテン系のコミュニティのみをワクチン接種対象として選んでいる。

**事実:** 黒人とラテン系のコミュニティのみを対象としてはいません。しかしながら、COVID-19 の感染者数、入院者数、死亡者数の割合が高いため、このコミュニティの方々へのワクチン接種が奨励されています。

このような懸念がなされることは理解できます。過去には、有色人種は非倫理的な慣行の下、騙されたり、強制されて健康を危険に晒す薬物や医療処置の実験台とされてきました。

米国で接種可能な 3 種類のワクチンは、異なる集団で臨床試験が行われました。人口を反映する数の黒人とラテン系のボランティアを試験に含めるための努力がなされました。これは、ワクチンがこれらのグループの方々にも安全かつ効果的であることを確認するためのものです。また、これらのグループが医学的怠慢や人種差別の犠牲者になるのを防ぐためにも行われました。



医師と公衆衛生プログラムは、黒人とラテン系のコミュニティが COVID-19 ワクチンに平等にアクセスできるようにするために懸命に働いています。黒人とラテン系の居住者は、アメリカ原住民とハワイ原住民の方々とともに、COVID-19 による感染者数、入院者数、死亡者数の割合が最も高くなっています。これが、コミュニティにワクチン接種を呼びかける看板を目にしたたり、広告を耳にする理由です。

ロサンゼルス郡は、最も打撃を受けているこのコミュニティができるだけ早くワクチン接種を受ける機会を持つことを望んでいます。LA の黒人とラテン系の居住者の危険性は高くなっています。信頼できる情報源からのワクチンについてあなたができることを読んでください。信頼できる情報に精通した方々（医師、理科・科学の教師、薬剤師）に相談し、質問や懸念について相談してください。あなたの疑問は大切であり、知識が豊富で信頼できる専門家からの回答を得ることができます。

**誤情報 #11：既に COVID-19 に一度感染したら、もうワクチン接種は必要ない。**

**事実：医師や科学者は、既に COVID-19 に感染したことのある場合でも、ワクチン接種を受けることを推奨しています。これは、ワクチンがより効果的かつ長期間にわたる保護を提供するためです。**

自然免疫は、COVID-19 に感染後に獲得される保護です。ワクチン接種を受けると、免疫力が高まり、COVID-19 に対する防御がより効果的かつ長期間になります。実際、最近の研究では、ワクチン未接種者は、ワクチン接種者と比較して、再感染の可能性が2倍以上高いことが分かっています。ワクチン接種は、最初の感染時に存在していなかった可能性のあるデルタ株など、より感染性の高いウイルスからの保護にも役立ちます。ワクチン接種を受けると、COVID-19 に再感染する可能性が低くなります。

**誤情報 #12: COVID-19 ワクチンには、中絶した胎児の細胞が含まれている。私は中絶を承認していない。ワクチンには中絶した胎児の細胞が含まれているため、ワクチン接種を受けるのは間違っている。**

**事実：米国で認可されているワクチンには、胎児の細胞や組織は一切含まれていません。**

COVID-19 ワクチンの開発、試験、または製造に使用されている胎児細胞株は、1973 年と 1985 年に行われた2度の中絶による細胞をもとに実験室で作られた胎児細胞株に由来しています。使用された胎児細胞はいずれも、近年の中絶、またはワクチン開発のみを目的とする中絶に由来するものではありません。

- ファイザーとモデルナは、COVID-19 ワクチンの開発または製造に胎児細胞株を使用していません。これら製薬会社は、人に対するワクチンの臨床試験の実施前に行った実験室での試験で胎児細胞株を使用しました。
- ジョンソン&ジョンソンは、胎児細胞株を使用して COVID-19 ワクチンを開発及び試験を行っています。また胎児細胞株をワクチン製造にも使用しています。
- カトリック教会は、COVID-19 ワクチンの製造を目的とした胎児細胞の使用についての検討を行いました。その結果、「研究と製造の過程で中絶された胎児由来の細胞株を使用した COVID-19 ワクチンの接種を受けることは道徳的に受け入れられる」と声明を発表しています。

この問題について懸念がある場合は、[COVID-19 ワクチンと胎児細胞株](#)の文書を注意深く読み、ワクチン接種に関する十分な情報に基づいた決定を下すようにしてください。



誤情報 #13： COVID-19 ワクチンに何が含まれているのか分からない。

事実：ワクチンの成分は誰でも閲覧可能です。

米国で接種可能な3種類のワクチンの成分は、製造元によって異なります。各ワクチンの成分リストは、[CDCのCOVID-19ワクチンの使用に関する暫定的な臨床的考慮事項](#)のウェブページの付録Cに記載されています。免疫システムを刺激する遺伝物質を除き、その成分はかなり基本的なものです。一部の成分には科学的な化学名が付いていますが、それらを調べると、塩、糖、脂肪であることがわかります。あなたが成分のいずれかにアレルギーがない限り、これらは安全です。

米国で接種可能なワクチンには、卵、ゼラチン、ラテックス、または防腐剤は含まれていません。鉄、ニッケル、コバルト、リチウム、希土類合金などの金属も含まれていません。ワクチンには、マイクロエレクトロニクス、電極、カーボンナノチューブ、ナノワイヤー半導体などの製品も含まれていません。